第68期

# 株主通信

2021年4月1日～2022年3月31日

Contents

株主の皆様へ…… P.1
営業の概況（連結）…… P.3
研究開発の状況…… P.5
研究開発パイプライン…… P.6
生産物流の状況／次期の見通し…… P.7
株主様ご優待のお知らせ…… P.8
トピックス…… P.9
財務諸表（連結）…… P.11
会社情報…… P.13
株式情報…… P.14
株主メモ

ゼリア新薬
ZERIA

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第68期の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

代表取締役会長兼CEO
伊部幸顕

代表取締役社長兼COO
伊部 亮弘

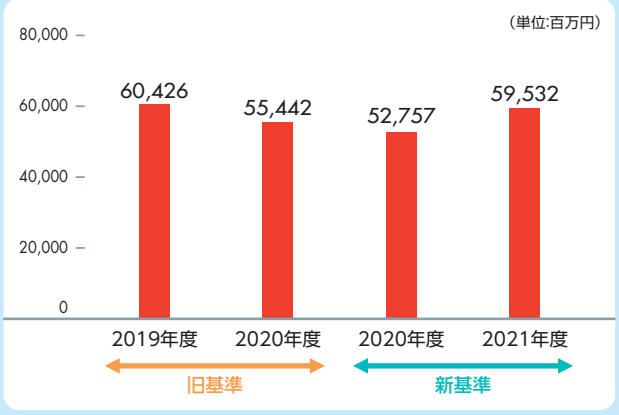
当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きがみられたものの、長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響に加えて、ウクライナ情勢の緊迫化に伴うエネルギー・原材料価格の高騰や急激な円安の進行など、経済の先行きに不透明感の増す状況が続いております。

医薬品業界におきましては、原則隔年実施であった薬価改定が毎年実施に変更されるとともに、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策も一層強力に推進されており、医療用医薬品の事業環境は厳しさを増しております。また、OTC医薬品市場におきましては、市場競争の激化に加え、外出自粛措置や訪日外国人の激減によるインバウンド需要の減少などにより、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

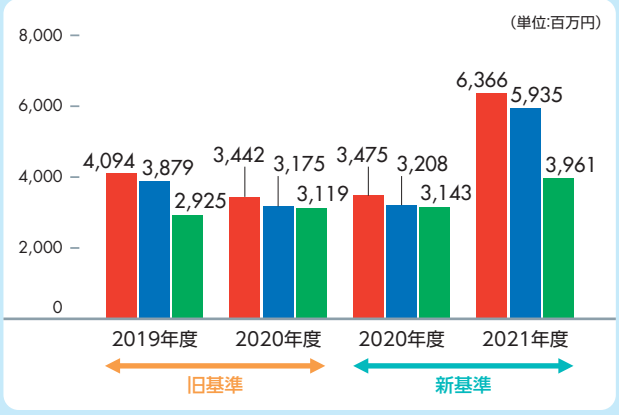
このような状況の中、当社グループはグローバル展開を強力に推進し、2020年11月に欧州の子会社Tillotts Pharma AGが製造販売権を承継したクロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」が大きく寄与し、海外売上高を大幅に拡大させました。また、2021年5月にMenarini社を通じて、中国にて潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」の販売を開始いたしました。さらに、Tillotts Pharma AGがイタリアに欧州域内で8番目となる現地法人を設立し、販売体制の強化を図っております。一方、国内の医療用医薬品事業、コンシューマーヘルスケア事業につきましては、回復基調とはなったものの十分な成果を上げるには至りませんでした。

これらの活動の結果、当連結会計年度の売上高は、595億32百万円（前期比12.8％増）となりました。利益につきましては、営業利益63億66百万円（前期比83.2％増）、経常利益59億35百万円（前期比85.0％増）、親会社株主に帰属する当期純利益39億61百万円（前期比26.0％増）となりました。なお、当連結会計年度の海外売上高比率は41.4％（前期36.2％）となっております。

売上高




営業利益（■）／経常利益（■）／
親会社株主に帰属する当期純利益（■）

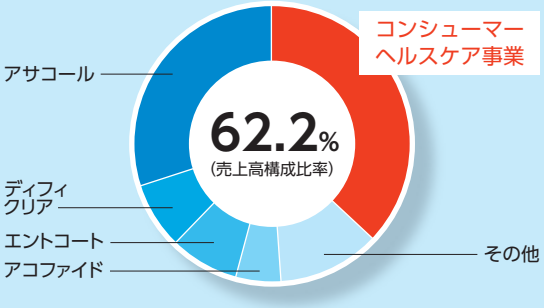


## 売上高

**370億6百万円**

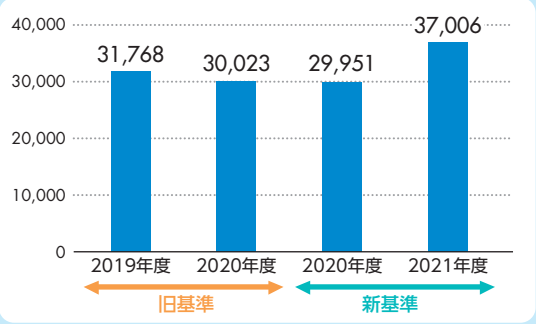
前期比
23.6%増

### 主要製品売上高




| | |
|---|---|
| アサコール | 174億円 |
| ディフィクリア | 52億円 |
| エントコート | 44億円 |
| アコファイド | 31億円 |

### 医療用医薬品事業連結売上高(単位:百万円)




## 医療用医薬品事業

主力製品の潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、国内市場では数量ベースでは伸長したものの、薬価改定の影響を受け、売上は前年並みとなりました。海外市場におきましては、「アサコール1600mg」の伸長を背景に堅調に推移いたしました。また、クロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」につきましては、欧州の感染症診療ガイドラインで第一選択薬として推奨される中、営業リソースを積極的に投入した結果、売上に大きく貢献いたしました。さらに、機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド」につきましては、前連結会計年度のアステラス製薬株式会社との共同販促終了に伴う在庫調整が解消したこともあり、売上は増加いたしました。一方、炎症性腸疾患治療剤「エントコート」(国内販売名:「ゼンタコート」)につきましては、カナダやスペイン等一部地域で苦戦し、売上が減少いたしました。なお、2020年9月より国内にて販売を開始した鉄欠乏性貧血治療剤「フェインジェクト」につきましては、消化器科・産婦人科を中心に市場構築に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、370億6百万円(前期比23.6%増)となりました。

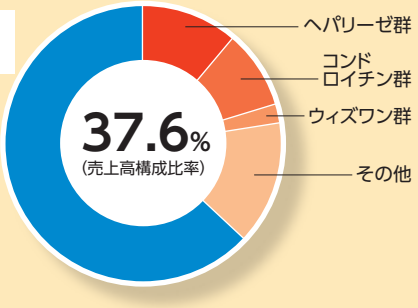
## 売上高

**223億70百万円**

前期比
1.2%減

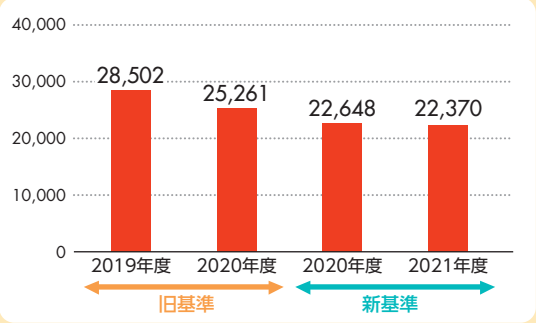
## 主要製品売上高

医療用
医薬品事業




| | |
|---|---|
| ヘパリーゼ群 | 77億円 |
| コンドロイチン群 | 51億円 |
| ウィズワン群 | 13億円 |

## コンシューマーヘルスケア事業連結売上高(単位:百万円)




# コンシューマーヘルスケア事業

主力製品の「ヘパリーゼ群」につきましては、医薬品ヘパリーゼの伸長に加え、下期よりコンビニエンスストア向けヘパリーゼW群の売上が回復に転じ、売上が増加いたしました。一方で「コンドロイチン群」や「ウィズワン群」、殺菌消毒薬等の衛生用品につきましては、競合品の影響などにより、売上は減少いたしました。

なお、製品ラインアップ強化に努め、「イオナ スパ&ミネラル Wクレンジング」や「ハイゼリーFE」などの新製品を発売いたしました。また、西洋ハーブ製剤の開発・育成に取り組む中、販売中の月経前症候群治療薬「プレフェミン」に加え、当連結会計年度において、足のむくみ改善薬「ベルフェミン」、過敏性腸症候群(IBS)改善薬「コルペルミン」を順次発売いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、223億70百万円(前期比1.2%減)となりました。

OTC医薬品

ヘパリーゼ®Wシリーズ

# 研究開発の状況

研究開発におきましては、Tillotts Pharma AGとの連携によるグローバル開発体制のもと、開発テーマを厳選のうえ、重点領域である消化器分野を中心に、導入品を含めた新薬の研究開発を推進してまいりました。

「Z-100」につきましては、子宮頸癌を対象として、日本を含むアジア7ヵ国でフェーズⅢ国際共同治験を実施してまいりましたが、主要評価項目である全生存期間において統計学的な有意差を示すことはできませんでした。しかしながら、Z-100は癌の抑制作用をはじめとして、免疫賦活作用に基づく多様な薬理作用を示すことが明らかになっており、さらには前回試験（2004～2013年）では、ステージⅢ Bの被験者に限った部分集団解析で、Z-100群はプラセボ群に対して、主要評価項目である全生存期間において顕著な有意差が認められたことから、今後ともZ-100の研究開発を継続していく方針です。

自社オリジナル品の「Z-338（アコファイド）」につきましては、国内において、小児機能性ディスペプシア患者を対象としたフェーズⅢを実施しております。また、九州大学が実施しているフェーズⅡ多施設共同医師主導治験に治験薬を提供し、食道胃接合部通過障害患者を対象としたアコチアミドの有効性および安全性の探索に研究支援しております。さらに、Meiji Seika ファルマ株式会社およびFaes Farma, S.A.との独占的開発・販売に関するライセンス契約に基づき、それぞれタイ・インドネシアおよびラテンアメリカ5ヵ国での製造販売承認取得に向けた活動を支援しております。

スイスVifor（International）AGから導入いたしました「ZG-801」につきましては、高カリウム血症を対象として、国内においてフェーズⅢ試験を遂行しております。一方で、当社が日本を担当国として参加いたしましたVifor（International）AGが米国、欧州などで実施していた高カリウム血症の背景を持つ慢性心不全患者を対象としたフェーズⅢ国際共同試験（適応症:高カリウム血症を伴う慢性心不全）につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、日本における試験開始前にVifor（International）AGが当該試験の中止を決定いたしました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、過敏性腸症候群（IBS）改善薬「コルペルミン」の製造販売承認を2021年8月に取得し、当社3番目の西洋ハーブ製剤として2022年3月に発売するとともに、「イオナ スパ&ミネラル Wクレンジング」や「ハイゼリーFE」などの新製品を順次発売いたしました。引き続き、西洋ハーブ製剤をはじめ、特徴ある製品の開発に取り組んでまいります。

# 研究開発パイプライン

## 新薬パイプラインの状況

### I. 国内開発状況

(2022年5月11日現在)

| 開発段階 | 開発番号／一般名 | 開発 | 適応症 | 作用機序 および 特長 | 起源 |
|---|---|---|---|---|---|
| フェーズⅢ | Z-338／アコチアミド | ゼリア | 小児機能性<br>ディスペプシア | 上部消化管運動<br>改善作用 | 自社品 |
| フェーズⅢ | ZG-801／パチロマー<br>ソルビテクスカルシウム | ゼリア | 高カリウム血症 | 陽イオン結合<br>非吸収性ポリマー | 導入品 |
| フェーズⅡ*<br>(医師主導治験) | Z-338／アコチアミド | 九州大学 | 食道胃接合部<br>通過障害 | 上部消化管運動<br>改善作用 | 自社品 |

*:日本医療研究開発機構(AMED)の助成事業に採択

### II. 海外開発状況

| 開発段階 | 開発番号／一般名 | 開発 | 適応症 | 作用機序 および 特長 | 起源 |
|---|---|---|---|---|---|
| フェーズⅢ<br>(欧州) | Z-338／アコチアミド | ゼリア | 機能性ディスペプシア | 上部消化管運動<br>改善作用 | 自社品 |
| 承認<br>(メキシコ) | Z-338／アコチアミド | Faes Farma | 機能性ディスペプシア | 上部消化管運動<br>改善作用 | 自社品<br>(導出) |
| 申請中<br>(チリ、コロンビア、<br>ペルー、エクアドル) | Z-338／アコチアミド | Faes Farma | 機能性ディスペプシア | 上部消化管運動<br>改善作用 | 自社品<br>(導出) |
| 申請中<br>(タイ、インドネシア) | Z-338／アコチアミド | Meiji Seikaファルマ | 機能性ディスペプシア | 上部消化管運動<br>改善作用 | 自社品<br>(導出) |

### 発売となった開発品

| 発売日 | 開発番号／一般名 | 開発 | 適応症 | 作用機序 および 特長 | 起源 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2021年5月<br>(中国) | Z-206／メサラジン | ゼリア・Tillotts<br>Pharmaの共同開発 | 潰瘍性大腸炎 | pH依存型<br>放出調整製剤 | 自社(Gr)品 |

自社(Gr)品:自社グループオリジナル品

ご参考

**フェーズⅠ(第Ⅰ相臨床試験)**

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

**フェーズⅡ(第Ⅱ相臨床試験)**

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ※と比較しながら調べます。

**フェーズⅢ(第Ⅲ相臨床試験)**

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

※プラセボ　有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

# 生産物流の状況／次期の見通し

## ● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、新型コロナウイルス感染拡大への対策を実施しつつ、品質確保及び安定供給を前提に、生産の集約や内製化の推進による原価低減に取り組んでまいりました。

生産関連部門では、新型コロナウイルス感染拡大による各工場での感染リスク対策の徹底と前倒し生産による製品在庫の確保を推進し、安定供給体制の維持を図りました。また、品質確保への対応として、改正GMP省令（医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令）の施行（施行日2021年8月1日）に伴い、より厳格なGMP運用が不可欠となっていることを受け、工場従業員に対する教育訓練の強化をはじめとしたGMP運用体制の整備を図りました。さらに、当連結会計年度は、当社が保有する埼玉・筑波両工場に子会社2社が保有する工場（健創製薬株式会社つくば工場、イオナインターナショナル株式会社福島工園）を併せた国内4工場の生産体制の見直しに着手し、生産ラインの集約化や内製化を開始いたしました。この動きを加速し、今後とも一層の原価低減に取り組んでまいります。

物流関連部門では、2020年に東京物流センターを移転した効果を最大限に活用し、共同配送体制を強化し、物流コスト低減に取り組みました。引き続き参加企業の拡大を主体とした共同配送体制の強化を推進し、さらなる業務効率化を図ってまいります。

なお、一部の後発医薬品製造販売業者による承認書と製造実態の乖離およびGMP省令違反に起因する大規模な回収事例が頻発しており、行政による製造所の査察体制が強化されております。当社各工場におきましては、これらの違反事例をもとに適宜再点検を実施し問題がないことを確認するとともに、GMP体制のさらなる強化のために本社組織による一元管理に向けた体制変更を実施いたしました。今後とも各工場における教育訓練の強化を図るとともに、品質管理部門の充実や本社担当部門による監督の体制強化を通して、万全を期してまいります。

## ● 次期の見通し

2023年3月期の通期連結業績につきましては、売上高660億円（前期比10.9％増）、営業利益70億円（前期比10.0％増）、経常利益70億円（前期比17.9％増）、親会社株主に帰属する当期純利益56億円（前期比41.4％増）と予想しております。

**売上高**

医療用医薬品事業につきましては、海外市場においては「ディフィクリア」や「アサコール」の伸長、国内市場においては「フェインジェクト」や「アコファイド」の伸長により、ともに増収を見込んでおります。また、コンシューマーヘルスケア事業につきましては、新たな変異株の出現もあり、未だ新型コロナウイルス感染拡大の終息は不透明な状況下ではありますが、新製品投入や、生活者の行動様式の変化やニーズに沿った販売促進活動の強化を通じ、「ヘパリーゼ群」をはじめとした主力品の売上の回復により増収を見込んでおります。

**利益**

売上高の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに増益を見込んでおります。

# 株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。
当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA～G、7つのコースからご希望のいずれかを、
100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはHコースをお届けいたします。
ご試用によって、当社グループの幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

## A コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・
特定保健用食品

「アルミ缶入りドリンク詰め
合わせヘパリーゼ®Wセット」

## E コース

上質なうるおいを
体感する3品目

「IONAベーシック
スキンケア3点セット」

## B コース

栄養補助食品

「コンドロサポート®詰め合わせ」
288粒入り1個
90粒入り3袋

## F コース

コンドロイチン研究を活かした、
うるおい体感の上質スキンケア

「イオナ R スペシャルケア
2点セット」

## C コース

化粧品・医薬部外品・
栄養補助食品

「コンドロマックス®・
アポスティー®セット」

## G コース

健康補助食品

「シーアルパ®100」
180粒入り1個

## D コース

スパ発想のオールインワン化粧品

「イオナ スパ&ミネラル
詰め合わせ」

## H コース

肝臓エキス配合炭酸飲料

「ヘパリーゼ®W炭酸」
10本

E,Fコースの製品はゼリアオンラインショップ(https://www.zeriaonline.com/)でお買い求めいただけます。

## ベルフェミン発売

当社は2021年12月20日、軽度の静脈還流障害（静脈の血流が滞ること）による足のむくみを改善する西洋ハーブを有効成分とする内服薬「ベルフェミン」（要指導医薬品）を発売しました。

「ベルフェミン」は欧州において下肢の静脈疾患（慢性静脈不全症）の治療に伝統的に使用されてきたセイヨウトチノキ（*Aesculus hippocastanum* L.）種子の乾燥エキスを主成分としており、本剤は1968年にドイツで発売されて以降、スイス、ノルウェーをはじめ十数ヵ国において下肢の静脈疾患（慢性静脈不全症）の諸症状を改善する一般用医薬品として販売されています。

国内で実施された臨床試験において、海外で実施された臨床試験と同様に、足のむくみを有する患者に対して本剤の有効性と安全性が確認されています。1回1カプセル、1日2回の服用で、軽度の静脈還流障害（静脈の血流が滞ること）による諸症状：足（ふくらはぎ、足首など）のむくみ、むくみに伴う足のだるさ・重さ・疲れ・つっぱり感・痛みを改善します。

**ベルフェミン** 要指導医薬品

効能・効果：軽度の静脈還流障害（静脈の血流が滞ること）による次の諸症状の改善：足（ふくらはぎ、足首など）のむくみ、むくみに伴う足のだるさ・重さ・疲れ・つっぱり感・痛み

## コルペルミン発売

当社は2022年3月24日、過敏性腸症候群（IBS）改善薬「コルペルミン」（要指導医薬品）を発売しました。

「コルペルミン」は、欧州においてIBSの治療に長年にわたり使用されてきたペパーミント（*Mentha piperita* L.）のオイルを有効成分とする医薬品です。ペパーミントオイルは、欧州医薬品庁より「IBSの諸症状に対して科学的根拠に基づく有効性安全性が実証された“Well-established use”」の医薬品として評価されています。

本剤は、スイスのTillotts Pharma AGにより開発され、1981年に英国で発売されて以降、スイス、ドイツをはじめ十数ヵ国においてIBSの諸症状を改善する一般用医薬品として販売されています。

国内で実施された過敏性腸症候群患者を対象とした臨床試験において、本剤の有効性と安全性が確認されました。本剤は1回1カプセル、1日3回の服用で、下痢型、便秘型、混合型のいずれのタイプのIBSに対しても効果が期待されます。

**コルペルミン** 要指導医薬品

効能・効果：過敏性腸症候群の次の諸症状の緩和：腹痛又は腹部不快感を伴い、繰り返し又は交互に現れる下痢及び便秘（以前に医師の診断・治療を受けた人に限る。）

## 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

| 科目 ＼ 期別 | 前連結会計年度<br>2021年3月31日現在 | 当連結会計年度<br>2022年3月31日現在 |
|---|---|---|
| **［資産の部］** | | |
| **流動資産** | **37,314** | **41,663** |
| 現金及び預金 | 9,793 | 11,704 |
| 受取手形及び売掛金 | 13,635 | 16,206 |
| たな卸資産 | 11,104 | 11,950 |
| その他 | 2,916 | 1,855 |
| 貸倒引当金 | △138 | △53 |
| **固定資産** | **84,546** | **82,618** |
| **有形固定資産** | **23,634** | **23,139** |
| 建物及び構築物 | 7,373 | 6,875 |
| 機械装置及び運搬具 | 2,239 | 1,921 |
| 土地 | 12,350 | 12,354 |
| 建設仮勘定 | 116 | 480 |
| その他 | 1,553 | 1,507 |
| **無形固定資産** | **42,069** | **41,206** |
| **投資その他の資産** | **18,842** | **18,273** |
| 投資有価証券 | 5,915 | 7,005 |
| 繰延税金資産 | 67 | 108 |
| 退職給付に係る資産 | 12,453 | 10,736 |
| その他 | 443 | 475 |
| 貸倒引当金 | △37 | △51 |
| **資産合計** | **121,860** | **124,282** |

| 科目 ＼ 期別 | 前連結会計年度<br>2021年3月31日現在 | 当連結会計年度<br>2022年3月31日現在 |
|---|---|---|
| **［負債の部］** | | |
| **流動負債** | **53,797** | **44,193** |
| 買掛金 | 1,693 | 2,049 |
| 短期借入金 | 44,158 | 33,842 |
| その他 | 7,944 | 8,300 |
| **固定負債** | **11,910** | **24,996** |
| 長期借入金 | 5,819 | 18,385 |
| 繰延税金負債 | 3,344 | 3,905 |
| 退職給付に係る負債 | 1,308 | 1,073 |
| その他 | 1,437 | 1,632 |
| **負債合計** | **65,707** | **69,189** |
| **［純資産の部］** | | |
| **株主資本** | **49,634** | **49,546** |
| **資本金** | **6,593** | **6,593** |
| **資本剰余金** | **11,685** | **11,685** |
| **利益剰余金** | **46,353** | **48,860** |
| **自己株式** | **△14,997** | **△17,593** |
| **その他の包括利益累計額** | **6,350** | **5,348** |
| **その他有価証券評価差額金** | **137** | **△193** |
| **為替換算調整勘定** | **2,599** | **3,215** |
| **退職給付に係る調整累計額** | **3,614** | **2,326** |
| **非支配株主持分** | **167** | **197** |
| **純資産合計** | **56,152** | **55,092** |
| **負債・純資産合計** | **121,860** | **124,282** |

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

| 科目 ＼ 期別 | 前連結会計年度<br>2020年4月 1日から<br>2021年3月31日まで | 当連結会計年度<br>2021年4月 1日から<br>2022年3月31日まで |
|---|---|---|
| 売上高 | 52,757 | 59,532 |
| 売上原価 | 15,796 | 17,384 |
| 売上総利益 | 36,960 | 42,148 |
| 販売費及び一般管理費 | 33,484 | 35,782 |
| 営業利益 | 3,475 | 6,366 |
| 営業外収益 | 373 | 287 |
| 営業外費用 | 640 | 717 |
| 経常利益 | 3,208 | 5,935 |
| 特別利益 | 1,058 | 18 |
| 特別損失 | 310 | 231 |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,956 | 5,721 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 837 | 726 |
| 法人税等調整額 | △35 | 1,020 |
| 法人税等合計 | 801 | 1,746 |
| 当期純利益 | 3,154 | 3,974 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 11 | 13 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 3,143 | 3,961 |

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

| 科目 ＼ 期別 | 前連結会計年度<br>2020年4月 1日から<br>2021年3月31日まで | 当連結会計年度<br>2021年4月 1日から<br>2022年3月31日まで |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 6,894 | 8,950 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △17,460 | △2,892 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 11,185 | △4,841 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 169 | 564 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 788 | 1,780 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,880 | 9,668 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | – | 129 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 9,668 | 11,579 |

## 連結株主資本等変動計算書(要旨)(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位:百万円、端数切捨て)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 6,593 | 11,685 | 46,353 | △14,997 | 49,634 | 137 | 2,599 | 3,614 | 6,350 | 167 | 56,152 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | | |
| 連結範囲の変動 | | | 89 | | 89 | | | | | | 89 |
| 剰余金の配当 | | | △1,543 | | △1,543 | | | | | | △1,543 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 3,961 | | 3,961 | | | | | | 3,961 |
| 自己株式の取得 | | | | △2,595 | △2,595 | | | | | | △2,595 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | △330 | 616 | △1,287 | △1,002 | 30 | △971 |
| 当期変動額合計 | – | – | 2,507 | △2,595 | △88 | △330 | 616 | △1,287 | △1,002 | 30 | △1,060 |
| 当期末残高 | 6,593 | 11,685 | 48,860 | △17,593 | 49,546 | △193 | 3,215 | 2,326 | 5,348 | 197 | 55,092 |

# 会社情報 (2022年3月31日現在)

## 会社概要

| | |
|---|---|
| 創立 | 1955年12月 |
| 資本金 | 6,593,398,500円 |
| 社員数 | 1,737名(連結) |
| 主な事業内容 | 1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入<br>2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入 |

## 事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 中四国支店
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 札幌物流センター
- 東京物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

## 取締役および監査役 (2022年6月29日現在)

| | |
|---|---|
| 代表取締役会長 兼 CEO | 伊部幸顕 |
| 代表取締役社長 兼 COO | 伊部充弘 |
| 取締役副社長 | 遠藤広和 |
| 取締役(社外取締役) | 小森哲夫 |
| 取締役(社外取締役) | 野本亀久雄 |
| 取締役(社外取締役) | 森元誠二 |
| 常勤監査役 | 高見幸二郎 |
| 常勤監査役 | 石山佳治 |
| 監査役 | 中由規子 |
| 監査役 | 紙透大 |

## 執行役員 (2022年6月29日現在)

| | |
|---|---|
| 常務執行役員 | 加藤博樹 |
| 常務執行役員 | 岡澤有輝 |
| 執行役員 | 平賀義裕 |
| 執行役員 | 河越利明 |
| 執行役員 | 草野研治 |
| 執行役員 | 岩井充 |
| 執行役員 | 秋庭和広 |

## 主な子会社 (2022年6月29日現在)

- Tillotts Pharma AG(スイス)
- Tillotts Pharma AB(スウェーデン)
- Tillotts Pharma Ltd.(アイルランド)
- Tillotts Pharma UK Ltd.(英国)
- Tillotts Pharma Czech s.r.o.(チェコ)
- Tillotts Pharma Spain S.L.U.(スペイン)
- Tillotts Pharma GmbH(ドイツ)
- Tillotts Pharma France SAS(フランス)
- Tillotts Pharma Italy srl(イタリア)
- Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd(ベトナム)
- ZPD A/S(デンマーク)
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- イオナ インターナショナル株式会社
- 健創製薬株式会社
- 株式会社ゼービス
- 株式会社ゼリアップ

# 株式情報（2022年3月31日現在）

## 株式の状況

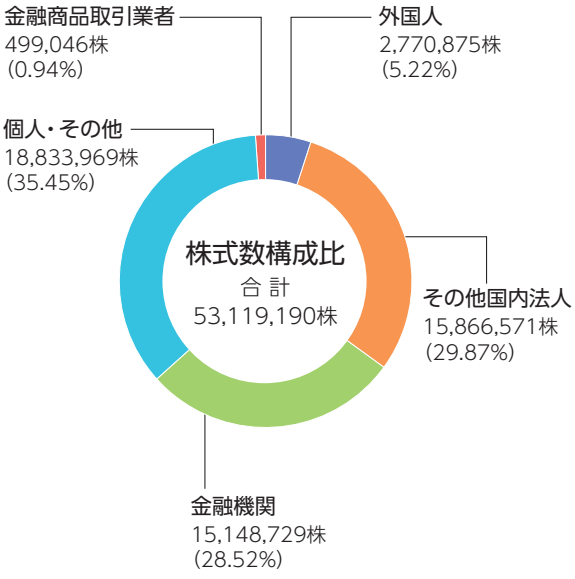
| | |
|---|---|
| ①発行可能株式総数 | 119,860,000株 |
| ②発行済株式総数 | 53,119,190株 |
| ③株主数 | 11,472名 |

## 大株主

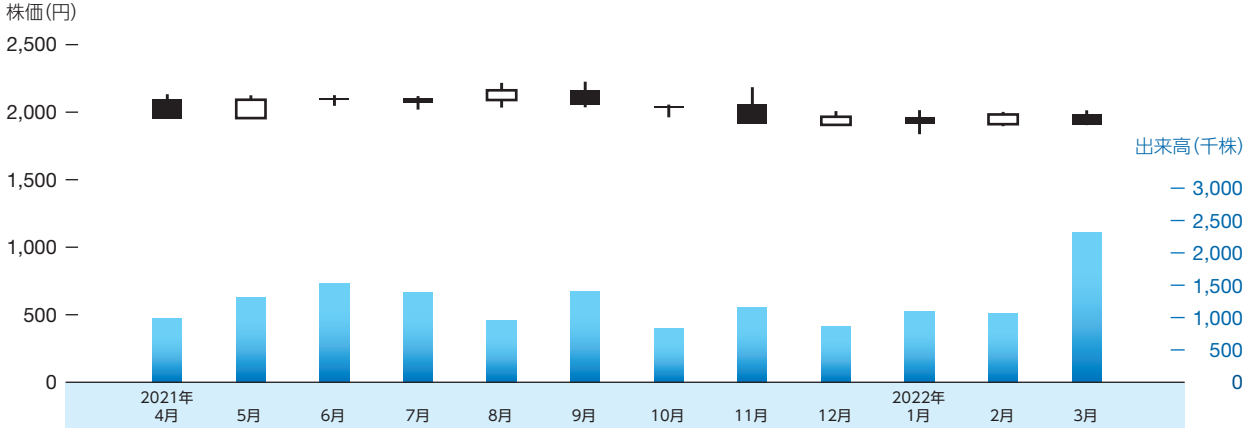
| 株　主　名 | 持株数（株） | 持株比率（%） |
|---|---|---|
| 有限会社伊部 | 4,741,847 | 10.7 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） | 4,037,200 | 9.1 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 2,107,050 | 4.7 |
| 森永乳業株式会社 | 1,840,215 | 4.1 |
| 伊部幸顕 | 1,592,967 | 3.6 |
| 株式会社三井住友銀行 | 1,406,131 | 3.2 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,406,053 | 3.2 |
| 株式会社りそな銀行 | 1,182,385 | 2.7 |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 | 944,560 | 2.1 |
| SMBCファイナンスサービス株式会社 | 900,900 | 2.0 |

（注）持株比率については、自己株式（8,709,322株）を控除して算出しております。

## 所有者別株式分布状況




## 株価および出来高の推移



## 株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当　毎年3月31日<br>中間配当　毎年9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社<br>https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ |
| 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先（電話照会先） | 〒168−0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社　証券代行部<br>電話　0120-782-031（フリーダイヤル）<br>取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。 |

**▶ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

**▶ 未払配当金のお支払いについて**

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

https://www.zeria.co.jp/

**ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室**
〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351（代表）　FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
https://www.zeria.co.jp/

健康づくりは幸せづくり
ゼリア新薬
ZERIA